

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 11. 28

下水道機構の『新技術情報』 第261号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

先週は都内では54年ぶりとなる11月の初雪が降りました！私の住む多摩地域では、5センチほど積もりました。南国生まれの者にとっては雪の降る日はいつもワクワクそわそわしてしまいます。急激に気温が下がりましたし、インフルエンザも流行し始めているようです。皆様、こまめな「うがい」と「手洗い」で体調管理に気を付けましょう(^_-)-☆

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第261号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第65回下水道新技術セミナー（11/18@東京、11/25@大阪）を開催しました
- ・12/8（木）技術サロンの参加者を募集しています

■機構の動き

- ・今週は、12/2(金)に技術委員会を開催します

■Tea Break

- ・ぼちぼち冬本番です（研究第二部 足軽Aさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、機構OBのペンネームL. I. GHさんから小諸市、上田市への紅葉狩りの様子をご投稿いただきました☆

■国からの情報

- ・11/25付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション（最新の話です）

。○。○。○。

●第65回下水道新技術セミナー（11/18@東京、11/25@大阪）を開催しました

東京会場は東京都港区の発明会館、大阪会場は大阪府中央区の難波御堂筋ホールで開催し、両会場合わせて約 300 名の方が参加されました。

地方公共団体では、執行体制の脆弱化、財政状況の逼迫、老朽化施設の増大等が進む中、下水道の機能・サービスの水準をいかに持続的に確保していくかが大きな課題となっています。この課題に対し、多様な PPP/PFI 手法の導入が解決策の一つと考えられ、これまで下水処理場の運転管理や資源利用分野等において、その取組が進められてきました。そこで、今後の PPP/PFI 事業の導入の参考としていただくため、今回は「下水道事業における PPP 事業の導入について」をテーマとして、最新の知見や国の方針、自治体における取組事例、先進手法等について専門家や当該業務に携わる自治体の方を講師にお迎えして、ご講演いただきました。

基調講演として、特定非営利活動法人 日本 PFI・PPP 協会 植田会長兼理事長より「下水道と PPP（官民連携）の果たす役割」と題し、下水道事業における公共施設等運営権制度（コンセッション）の取組とリスク分担等に関する最新の事例や知見についてご講演いただきました。その他、特別講演として、国土交通省水管理・国土保全局下水道部 松原下水道事業調整官（東京会場）、植垣下水道企画課長補佐（大阪会場）より、PFI/PPP に関する下水道分野における取組状況や推進のための支援策等について、また、各自治体における事例報告として、浜松市上下水道部 鈴木下水道工事課長から終末処理場運営事業（コンセッション）の取組について、かほく市産業建設部上下水道課 小村下水道係長（東京会場）、奥谷主事（大阪会場）から上下水道施設を一体とした包括的民営委託についてご講演いただきました。併せて、当機構の研究第二部片桐担当部長より、管路マネジメント支援に関する研究概要についてご紹介させていただきました。

本セミナーの講演内容については、講演ダイジェスト（基調講演・特別講演）として、平成 29 年 1 月頃に発刊予定の機関誌「下水道機構情報」に掲載します。また、セミナーの資料については、準備が整い次第、会員サイトにアップをする予定です。

●『技術サロン』を 12 月 8 日に開催します

ゲストは公益社団法人 日本下水道協会 技術研究部 参事兼技術指針課長 松本広司氏、テーマは「熊本地震を踏まえた災害時支援ルール等改定の方向性について」です。

下水道事業において地震などの災害時支援については、東京都、政令市間の「下水道災害時における大都市間の連絡・連携体制に関するルール」（大都市ルール）とその他自治体間の「下水道事業における災害時支援に関するルール」（全国ルール）があります。

本年 4 月に発生した熊本地震による下水道施設の被害に対する、復旧支援の状況を踏まえ、下水道協会では「災害時支援に関する検討委員会」を立ち上げ、全国ルールと大都市ルールの調整方法、現地支援本部の位置付けや具体的な役割分担等に関し、ルールをより実効的なものに改善するために検討を進めてきました。

また、本年 7 月に当機構が実施した、熊本地震における下水道 BCP の有効性と課題に関するアンケート調査においても、不足した人材や資材を補うために、事前に県外の自治体や他団体との協力体制を構築することが、下水道 BCP の見直し課題として挙げられています。

そこで、今回の技術サロンでは、検討委員会の事務局である下水道協会の松本氏を

お招きし、災害時支援ルール改定の方向性等を説明していただきます。

災害時の初動体制や、復旧のための調査手法など、下水道の現場にかかわるすべての関係者に参考となるものです。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

お申し込みは機構ホームページから

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

機構の動き （機構の行事予定です）

。○。

●日 時：平成 28 年 12 月 2 日(金) 14:00~17:00

行 事：平成 28 年度第 2 回技術委員会

場 所：機構 8 階 特別会議室

案 件：(1) 各委員会の調査研究報告についての審議等

○平成 28 年 12 月 8 日(木) 17:00~18:00

行 事：第 354 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

ゲスト：公益社団法人日本下水道協会 技術研究部参事兼技術指針課長 松本広司氏

テーマ：「熊本地震を踏まえた災害時支援ルール等改定の方向性について」

※お申し込みはこちら

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○。

●休ばちぼち冬本番です（研究第二部 足軽 A さんからの投稿です）

今日は関東地方で今年初の雪が降りました。東京で 11 月の雪は 54 年ぶりだそうです。こんな時はお鍋で暖まりたいと思うのですが、みなさんはどんなお鍋が好きですか。

お鍋といっても、よせ鍋やキムチ鍋、もつ鍋、女性に人気の豆乳鍋、秋田名物のきりたんぼ鍋など、今思いついただけでもけっこうできました。さらに締めには雑炊や、うどん、ラーメンなどこちらもたくさんあって、どうしようか迷うのも楽しみの一つです。自宅でもったりやるのもいいですし、ちょっと背伸びして、おしゃれなお店で味わうのもまたいいですね。

でも、やっぱりお鍋はみんなでつつきながらわいわいできるのがいちばんの魅力だと思います。今年もお鍋で身も心も温まりたいと思います。

。○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

。○。

●今回は、機構 OB のペンネーム L. I. GH さんから小諸市、上田市への紅葉狩りの様子をご投稿いただきました☆

→ <http://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2016-11-28>

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016. 11. 25 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 岩崎宏和

=====

去る 11 月 1、2 日に「国土技術研究会」が本省で開催されましたが、直轄の発表が多い中、京都府流域下水道事務所の発表「雨水南幹線シールド発進立坑（いろは呑龍トンネル）について」が、優秀賞を受賞したとのことです。おめでとうございます。関係者の一人としても喜ばしい限りです。下水道分野としても唯一の受賞のようです。技術面のみでなく、PR についても書かれていますので、是非お読み下さい。

平成 28 年度 国土交通省 国土技術研究会

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/>

平成 28 年度 国土交通省 国土技術研究会 最優秀賞・優秀賞一覧

<http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/jusyo.html>

雨水南幹線シールド発進立坑（いろは呑龍トンネル）について

http://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/program/kadai/pdf/jusyo/5_inob2_2.pdf

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」のコンテンツを充実しています（流域管理官）

○下水道業に係る暫定排水基準（亜鉛含有量）の適用期限の延長について

(流域管理官、管理企画指導室)

- 佐賀発！「BISTRO 下水道の佐賀海苔」をPR販売します【資料請求×切：12/2】(佐賀市)
- 「エコプロ 2016」で水循環と上下水道の役割をPR (GKP)
- 第1回GJリンク東北ブロックワークショップを開催しました。(宮城県、仙台市)

=====

○下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」のコンテンツを充実しています(流域管理官)

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」は、下水道による浸水対策に関して、計画から設計、施工、維持管理等の各段階で、各都市の取組の好事例、課題等を地方公共団体職員で共有し、浸水対策に係る人材育成を促進することを目的としたサイトです。随時コンテンツの充実を図っているところですので、皆様ぜひご覧下さい。

⇒ アメッジ トップページ URL : <http://shinsui-portal.jp/>

【「担当者's VOICE」のページに名古屋市の浸水対策事業の事例紹介を掲載】

名古屋市の浸水対策は、下水道創設期より1時間50mmの降雨に対応する施設整備を進めており、平成27年度末現在の都市浸水対策達成率は、・・・・・・続きはアメッジへ！

【「行政情報」のページに「七つ星」説明会の動画をアップ】

国土交通省では、平成27年度の法改正を踏まえた新たな雨水管理の考え方を水平展開するべく、これからの内水浸水対策の道しるべとなるガイドライン類を「七つ星」と銘打って公表しました(平成28年4月)。

平成28年6月から8月にかけて開催した全国10ブロックでの説明会のうち、流域管理官付課長補佐・斎野が講師を務めた東北会場での説明会の様子をアップしました(閲覧にはユーザ登録が必要です)。

【「研修等情報」に日本下水道新技術機構セミナーの動画をアップ】

平成28年8月19日開催された日本下水道新技術機構主催による下水道技術セミナーの様子(広島市におけるB-DASH事業の概要、厚木市における浸水対策に関するFS調査の概要)をアップしました(閲覧にはユーザ登録が必要です)。

※ユーザ登録について

トップページ上部の「会員ログイン」をクリックし、ユーザ登録をお願いします。

登録には、任意のユーザ名(英数字のみ)の他、メールアドレス(個人のフリーアドレス以外)、氏名、所属団体名の登録が必要です。

なお、ユーザ登録は地方公共団体職員限定としておりますので、ご了承ください。

○下水道業に係る暫定排水基準(亜鉛含有量)の適用期限の延長について

(流域管理官、管理企画指導室)

水質汚濁防止法に係る排水基準について、亜鉛、カドミウムの暫定排水基準の適用期限を延長する「排水基準を定める省令等の一部を改正する省令及び水質汚濁防止法施行規則等の一部を改正する省令の一部を改正する省令」が、11月15日に公布されました。

下水道業に関わるのは「亜鉛含有量」でして、同基準のまま、5年間延長されております。以下、下水道業に関わる概要です。

■期間：平成28年12月11日～平成33年12月10日

■基準：暫定排水基準 5mg/L（一般排水基準 2mg/L）

■対象：下水道業（金属鉱業又は電気めっき業に属する特定事業場から排出されている水を受け入れているものであって、一定の条件に該当するものに限る。）

また、下水道法第12条の2第1項に規定する特定事業場のうち、金属鉱業及び電気めっき業に属する特定事業場から下水道に排除される下水に対する水質規制の基準についても、下水道法施行令第9条の4第5項により暫定排水基準5mg/Lが適用されることとなります。

【環境省HP：報道発表】

<http://www.env.go.jp/press/103211.html>

○佐賀発！「BISTRO 下水道の佐賀海苔」をPR販売します【資料請求×切：12/2】（佐賀市）

佐賀市の下水処理水の放流先で摘まれる海苔を「BISTRO 下水道の佐賀海苔」として販売します。

佐賀の財産と言える海苔。この地域でとれる海苔は、味、色つや、香りが「日本でトップクラス」との折り紙つきです。これは長年にわたる海苔養殖業者の技術と努力の賜物です。佐賀市下水浄化センターからの安全かつ栄養塩豊富な処理水の放流も、これに貢献しています。都内の有名ホテル和食料理長からは、「口どけの良さと濃い旨味」、「広がる磯の香り」などご好評をいただいております。

今回の販売は、この秋最初にとれた秋芽初摘み海苔です。名尾和紙をまとった桐箱に5枚1袋×3袋＝全形15枚入り、BISTRO 下水道PR特価3,500円（税込、送料別）で販売します。

購入をご検討の方は、下記お問い合わせ先に、件名を「佐賀海苔購入検討資料希望」としてメールでご連絡ください（資料請求×切：平成28年12月2日（金））。

→【資料請求・お問い合わせ先】

佐賀市上下水道局下水プロジェクト推進部

橋本、江頭 gesushisetsu.sui@city.saga.lg.jp

○「エコプロ2016」で水循環と上下水道の役割をPR（GKP）

下水道広報プラットフォーム（GKP）は、12月8日（木）から10日（土）まで東京ビッグサイト（江東区有明）で開催される「エコプロ2016」に出展いたします。上水道と一体的なブースを構え、「水をめぐる大冒険～飲み水はどこから来る？使った水はどこへ行く？」と題し、「水循環」という一連の流れのなかで上水道・下水道の大切な役割を来場者にPRします。

上水道ブースを担当するのは、メタウォーター株式会社と、本年度より初参画の公益社団法人日本水道協会です。下水道ブースは下水道広報プラットフォームがPRを担当し、3者による共同出展で、これまで以上にパワーアップした企画内容になっております。期間中は、ミス日本「水の天使」須藤櫻子さんが、ブース内にて来場する子供たちに水循環と上下水道の役割について優しくレクチャーします。

■上下水道ブース「水をめぐる大冒険～飲み水はどこから来る？使った水はどこへ行く？」概要

小間番号：東6ホール 5-033（地球温暖化対策と環境配慮ゾーン）

主催：下水道広報プラットフォーム（GKP）

共同出展：（公社）日本水道協会、メタウォーター（株）

協力：国土交通省水管理・国土保全局下水道部

協賛：東京都下水道局、東京都下水道サービス（株）

管路情報活用有限責任事業組合、管路情報協同組合、水ing（株）、月島機械（株）、（株）日水コン、万水電機設備工業（株）、（株）フソウ、前澤工業（株）、メタウォーター（株）、ラサ商事（株）

後援：「21世紀の下水道を考える会」協議会

（公社）日本下水道協会、（一社）日本建設業連合会、（一社）日本下水道施設業協会、（一社）全国上下水道コンサルタント協会、（公社）日本推進技術協会、（公社）日本下水道管路管理業協会、（一財）下水道事業支援センター、（公財）日本下水道新技術機構、（一社）日本下水道施設管理業協会、（一社）日本下水道光ファイバー技術協会

○第1回GJリンク東北ブロックワークショップを開催しました。（宮城県、仙台市）

第1回GJリンク東北ブロックワークショップを11月18日、宮城県と仙台市が事務局となり開催しました。当日は東北六県の女性職員35名が参加し、積極的な意見交換が行われました。

日本下水道協会の奥山恵美子会長（仙台市長）の講演では、「下水道は女性に活躍してほしい分野の一つ。働きやすい職場作りには多様性に富むものの見方が必要で、女性が発信することで周りの人が気づくこともある。」と語っていただきました。

グループディスカッションでは家事や育児と仕事の両立、女性が少ない職場で思うことなどをテーマに現状や解決策を話し合いました。

また、東日本大震災の津波で全壊し、4月に本格復旧した仙台市南蒲生浄化センターも視察しました。

今後も継続してGJリンクの輪を広げていきたいと思っております。

=====

【参考情報】

◆災害用トイレ「不足」5割 NPOが自治体調査 予算確保・備蓄場所が課題〈11/25
朝日新聞〉

<http://www.asahi.com/articles/DA3S12674820.html>

◆マンホールカード 人気支える「こだわり」と「仕掛け」〈11/20 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/articles/20161119/mog/00m/040/010000c>

◆車道陥没 名古屋市の交差点で けが人なし〈11/22 毎日新聞〉

<http://mainichi.jp/articles/20161123/k00/00m/040/104000c>

◆ミニトマト出荷始まる 次世代施設園芸／下水処理熱も活用で収量大幅増〈11/24
東日新聞〉

<http://www.tonichi.net/news/index.php?id=56804>

◆群馬観光の起爆剤に！！ 「マンホールカード」来月から配布〈11/23 産経ニュー
ス〉

<http://www.sankei.com/region/news/161123/rgn1611230061-n1.html>

◆イカにも函館！ マンホールをカードで紹介〈11/22 北海道新聞〉

<http://dd.hokkaido-np.co.jp/news/area/donan/1-0340669.html>

◆下水熱利用に新ジャンル、消毒槽の熱で空調を省エネに〈11/22 ITmedia〉

<http://www.itmedia.co.jp/smartjapan/articles/1611/22/news026.html>

◆マンホール図柄 カードに〈11/19 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/yamanashi/news/20161118-0YTNT50126.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20160531/>
